バスケットボールの基本的指導過程作成（2021下呂市）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 運動習熟の過程 | | | それらしくできる　　　　　　　　　 　　　　　できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　うまくできる |
| 対象の学年 | | | １年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３年 |
| 意識の広がり | | | ボールの動き　　　　　場所　　　　　　　　　　味方の動き　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手の動き |
| ゲームの様相 | | | ゴール前のスペースを使ったり作ったりして攻める  相手がゴール下に戻る前に攻める  相手に囲まれる前に広がり、正確にパスをつないで攻める |
| ねらい | | | 仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出したりして攻めることができる。  ゾーンディフェンスを活用して、縦と横のスペースを有効に使い、相手が戻る前に攻めることができる。  ＤＦに囲まれる前に，早く広がって早くパスをつなぎ，シュートを打つゲームができる。 |
| 練習方法 | | | ５対０・５対１・５対２・５対３・５対４・５対５  ※３対０・３対１・３対２などグループの実態に応じて工夫 |
| ルール | | | 制限付きゲーム  ドリブルなし　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ドリブルあり |
| 知識及び技能 | 戦術 | | ピボットを使ってつないで攻める  攻め手の人数を増やして攻める  カットインプレーを使って攻める  ゾーンディフェンスから速攻を使って攻める |
| ボール  操作 | On  the  ball | ゴール下シュート（つま先をゴールに向ける）　　　　レイアップシュート  ピボットターン（ボールを相手から遠ざける）  パス（つま先をパス方向に向ける）　　　　　　　　　 　　　　　ドリブル |
| 空間に走り  こむ動き | Off  The  ball | ボール保持者と自分の間に相手がいない場所に動く　　　縦や横の空いたスペースに動く　　　　　　　　　　空間を作り出す  マークをかわして動く  ボールサイドを使って広がる　　円を描くように走る |
| 思考力、判断力、表現力等 | 攻防などの  課題の発見 | On  the  ball | ボールをもったらゴールを見る  パスできる味方を待つ　　　　　　　　　　　相手が戻る前にゴール方向にパス  　相手がいない場所に動こうとしている味方にパス　　　　　　　　どのパスコースを選ぶか |
| Off  The  ball | ボール保持者と自分の間に相手がいない場所　　相手が戻るよりも早く走る  もどる、助けに行く　　　　　　　　　　　　　　　　　　どのパスコースになるか |
| 自己の考えたことを他者に伝える | | 「どんな時に、どこに動いて、何をするか」という視点で個人課題を立てる  作戦板のマグネットを操作する  作戦に沿った個人課題を立てる　個人課題を判断して立てる　役割に応じた個人課題を立てる　個人課題を修正したり認め合ったりする  （「思考の流れ図」を基に）　　　　　　　　　　　（「思考の整理図」を基に）  できない・分からないことを聞く |
| 学びに向かう力，人間性等 | 作戦などについての話し合いに参加しようとすること | | 仲間の指示に応え，まとまって活動しようとする  個人課題を仲間に発信する　　分からないことを自分から聞く  仲間の援助に応える　　　　　　　仲間の指摘に応える |
| １人１人の違いに応じたプレイを認めようとする | | 認め、励ましの声をかける  個人課題を共有する　　　個人課題の達成を認め合う  成果を要求したり頑張りを認めたりする |
| 仲間の学習を援助しようとする | | うまくできない仲間に困っていることを尋ねる  　　　　　　　　　　　　　うまくできない仲間の気持ちに寄り添った関わり  うまくできない仲間の課題に対し、グループ全員で解決に向かう |